

検査の背景

- ✓ 政府は、多額の予算を計上して、新型コロナウイルス感染症対策に関連する各種事業（コロナ関連事業）を実施してきた
- ✓ 新型コロナウイルス感染症対策に係る対応策、対策等に係る予算額の合計は、次のとおり
 - －令和元年度 4564億円
 - －2年度 76兆6974億円
 - －3年度 36兆9589億円
 - －計 114兆1129億円

検査の状況

- ✓ 元年度から3年度までのコロナ関連事業1,529事業のうち予算の執行が区分して管理されていた1,367事業の予算の執行状況を分析
- ✓ **<3年度コロナ関連事業（586事業）に係る予算の執行状況>**
3年度の予算現額は50兆8735億円、支出済額は33兆8471億円、4年度への繰越額は13兆3254億円、不用額は3兆7009億円、執行率は66.5%となっていた
- ✓ **<元年度から3年度までのコロナ関連事業（1,367事業）に係る予算を通算した執行状況>**
元年度から3年度までの3年間の**予算総額**（各年度の予算現額の重複を控除した総額）は**94兆4920億円**と多額になっており、そのうち3年度から4年度へ繰り越した額も**13兆3254億円**と多額となっている状況
- ✓ **<2年度に概算払をした補助金等に係る精算及び余剰額の状況>**
3年5月1日から4年4月30日までの間に精算が完了した概算払額は3兆4460億円で、このうち**余剰額は4788億円**これらは2年度のコロナ関連事業の支出済額として計上されたが、4788億円は**最終的にコロナ関連事業の実施に充てられていなかったもの**
- ✓ **<各府省等におけるコロナ関連事業に係る予算の執行等に関する情報提供の状況>**
内閣府が取りまとめた資料において各府省等の主な事業の支出済額については公表されるなどしていたが、**繰越額及び不用額については、特段、公表すべき基準等がないこと**などから、厚生労働省の1事業以外には**コロナ関連事業と分かる形で公表されていなかった**

所見

- ✓ 各府省等は、多額に執行されているコロナ関連事業に係る予算の執行状況等に関して、予算の執行状況を示す基本的な情報である支出済額、繰越額及び不用額並びに補助金等の余剰額について分かりやすく情報を提供すること

1.新型コロナウイルス感染症対策に関連する各種施策に係る予算の執行状況等（特定）

各府省等

多くの事業が予算の執行を区分して管理されていたことから、これらの事業について予算執行の状況を整理して分析した

令和3年度コロナ関連事業に係る予算の執行状況

(単位：事業、億円、%)

事業数	令和2年度からの繰越額		予算現額	支出済額	4年度への繰越額	不用額	執行率
	令和2年度からの繰越額	令和2年度からの繰越額					
586	22兆3256	50兆8735	33兆8471	13兆3254	3兆7009	66.5	

元年度から3年度までのコロナ関連事業に係る予算を通算した執行状況

(単位：事業、億円、%)

経費項目	事業数	予算総額	支出済額	執行率	4年度への繰越額	不用額	不用率
新型コロナウイルス感染症防止策	533	18兆6564	15兆8855	85.1	2兆1057	6650	3.5
経済・雇用対策	641	60兆2710	50兆7807	84.2	5兆5174	3兆9728	6.5
国際協力	186	3883	3883	99.9	—	0	0.0
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	7	15兆1761	9兆4375	62.1	5兆7021	364	0.2
計	1,367	94兆4920	76兆4921	80.9	13兆3254	4兆6744	4.9

事業別の予算の執行状況	年度	実施府省等名	事業名	予算総額	支出済額	4年度への繰越額	不用額	執行率	不用率
支出済額が最も大きい事業	2	総務省	特別定額給付金給付事業	12兆8802	12兆7723	—	1079	99.1	
執行率が最も低い事業	3	経済産業省	事業復活支援金	2兆7914	5295	2兆2619	—	18.9	
繰越額が最も大きい事業	2、3	内閣府、総務省	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	15兆1759	9兆4374	5兆7021	364		
不用額が最も大きい事業	2、3	国土交通省	Go To トラベル事業	1兆9615	8639	3232	7743		39.4
不用率が最も高い事業	元	厚生労働省	新型コロナウイルス感染症対策に係る助成金等	1556	1	—	1554		99.9

※斜線部分は、検査報告においては計数の記載がないものである

1.新型コロナウイルス感染症対策に関連する各種施策に係る予算の執行状況等（特定）

各府省等

2年度に概算払をした補助金等に係る精算及び余剰額の状況

支出済額が100億円以上で3年5月から4年4月までの間に精算が完了したもの（単位：事業、億円）

事業数	概算払額	左のうち確定した交付額等	同余剰額
16	3兆4460	2兆9672	4788

- ・ 概算払をした補助金等の精算が翌年度の4月30日までに完了しなかった場合、交付先等において最終的に使われなかった余剰額は当年度の予算に戻入することができず、決算においては当年度の支出済額に含まれて計上
- ・ 上表の概算払額は、決算においては2年度のコロナ関連事業の支出済額として計上されていたが、余剰額は、**最終的にコロナ関連事業の実施に充てられていなかったものであり、**決算だけでは実質的な執行額が把握できない状態
- ・ なお、余剰額は全額が国庫に返納されており、3年度又は4年度の歳入に計上

各府省等におけるコロナ関連事業に係る予算の執行等に関する情報提供の状況

- ・ 内閣府の「経済財政諮問会議」の会議資料の中で、各府省等の主な事業の支出済額については公表
繰越額及び不用額については、厚生労働省の1事業以外には、コロナ関連事業と分かる形で公表されていなかった

所見

各府省等は、多額に執行されているコロナ関連事業に係る予算の執行状況等に関して、予算の執行状況を示す基本的な情報である**支出済額、繰越額及び不用額並びに補助金等の余剰額について分かりやすく情報を提供すること**